



講演のほか、町の施策や補助制度も説明しました

脱炭素のまちづくり
講演会開催

2月27日(火)

来島交流センターで「脱炭素」をテーマに、まちづくり講演会を開催しました。

本町は、昨年3月に「飯南町脱炭素のまち宣言」を行いました。その実現に向け、一人一人ができることをテーマに（公財）しゃまね自然と環境財団の葭矢氏が講演。毎日の暮らしを変えていくことで、省エネや光熱費の節約になり、人や環境への好影響に繋がると話していただきました。

今後、1月に策定した「飯南町脱炭素のまち推進計画」に基づき、取組を進めていきます。

令和6年度 主な年間行事の紹介

日程は変更することがあります。あらかじめ広報誌行事予定、文字放送、町ホームページなどでご確認ください。

- 5月**
 - 11日(土) 地元の山ハイキング! (衣掛山・武名ヶ平山)
 - 12日(日) ぼたんまつり(赤名観光ぼたん園周辺)
 - 15日(水) 小学校陸上大会
 - 23日(木) 小学校修学旅行<~24日>
 - 26日(日) ハイブリッドウインドオーケストラコンサート(来島交流センター)
- 6月**
 - 2日(日) 人権学習+α~紙芝居公演(谷笑楽校)
 - 9日(日) ポピー祭(東三瓶フラワーバレー)
 - 19日(水) 頓原中学校区小中合同音楽会
 - 20日(木) 赤来中学校区小中合同音楽会
 - 22日(土) halfナイトウォークラリー(さつき会館)
- 7月**
 - 19日(金) 小中学校終業式
 - 21日(日) やまめのつかみ取り大会(ふれあい養魚場)
- 8月**
 - 10日(土) みんなの広場夏祭り(来島交流センター)
 - 15日(木) 二十歳の集い(来島交流センター)
 - 28日(水) 中学校始業式
 - 29日(木) 小学校始業式
 - 29日(木) 飯南高鵬雲祭(~31日(土))
 - 31日(土) 志々公民館まつり(さつき会館)
- 9月**
 - 14日(土) 中学校体育祭
 - 21日(土) 小学校運動会(頓原・来島・赤名)
 - 21日(土) 志々地区合同体育大会
 - 23日(月・祝) 琴引山チリケ封じ登山(琴引山)
 - 未定 飯南町秋季畜産共進会(畜産センター)

- 10月**
 - 6日(日) 銀山街道ウォーキング
 - 9日(水) 小学校5年生宿泊研修<~11日>(三瓶)
 - 12日(土) きじま寄席 桂弥っこ・桂二豆 公演(来島交流センター)
 - 13日(日) コスモス祭(東三瓶フラワーバレー)
 - 20日(日) 頓原公民館まつり(交流センターとんぼら)
 - 26日(土) 赤来中カルチャーフェスタ
 - 31日(木) 秋を楽しむ大人のためのウォークラリー
未定 飯南町グラウンドゴルフ大会
- 11月**
 - 2日(土) 頓原中文化祭
 - 2日(土) 企業CSR in 志津見ダム会場(彩りの森周辺)
 - 2日(土) 紅葉祭(うぐいす茶屋周辺)(<~3日(日)>)
 - 3日(日・祝) 来島地区文化祭(来島交流センター)
 - 9日(土) 小学校学習発表会
 - 13日(水) 中学校修学旅行(<~15日(金)>)
- 12月**
 - 25日(水) 小中学校終業式
- 1月**
 - 1日(水・祝) 元旦マラソン(頓原、志々)
 - 8日(水) 小中学校始業式
 - 25日(土) 飯南町スキー大会(琴引フォレストパークスキー場)
 - 30日(木) 頓原小一日入学
 - 31日(金) 赤名小一日入学
- 2月**
 - 4日(火) 志々小一日入学
 - 5日(水) 来島小一日入学
- 3月**
 - 1日(土) 飯南高卒業式
 - 1日(土) フラワーアレンジメント教室(赤名改善センター)
 - 8日(土) 中学校卒業式
 - 19日(水) 小学校卒業式
 - 24日(月) 小中学校修了式

石川県に
職員を派遣

2月13日(火)
19日(月)



家屋調査を実施する三宅主任主事

元日に発生した「令和6年能登半島地震」の被災地である金沢市に、本町から福祉事務所勤務する三宅一樹主任主事を派遣しました。
島根県の災害派遣チームの一員としての派遣で、金沢市の被災家屋の認定調査などに1週間従事しました。
三宅主任主事は、「被災地の復興の力になればと思います」と話しましたが、1週間と短い期間ではありましたが、しっかりと業務にあたることができました」と話しました。

留学生と高校生の
交流会開催

2月22日(木)



緊張した様子でしたが、最後は笑顔で記念撮影

本町と連携協定を結んでいる東京農工大学と、同大学と共同研究中の上智大学の留学生が、2月22日~25日の4日間、調査のため来町。22日に飯南高生徒と交流会を開催しました。
交流会では、高校生によるまちなりの紹介、留学生による出身国の紹介の後、グループに分かれて交流。英語や身振り手振りを交えて、文化や学校生活の話で盛り上がりました。
今後とも本町での調査に合わせ、高校生や中学生との交流の機会を創出していきます。

教育環境基本方針
答申書を受理

2月27日(火)



本町では、人口減少・少子高齢化に歯止めのかからない中、今後の本町にふさわしい教育環境について方針を定めるため、令和4年度から検討委員会を開催してきました。
2月27日に、第10回の検討委員会を開催。作野委員長から大谷教育長に答申書が提出されました。
新年度からは、この方針を尊重しながら、より具体的な計画を定める「教育環境基本計画」の策定に着手します。
※答申書の詳細はホームページをご覧ください。



「子どもも大人も参画した議論を重ねて、基本計画の策定に着手する」と教育長



作野委員長が答申に込めた想いを伝え、教育長に提出